

農業委員会だより

■ 発行人 飯山市農業委員長 伊澤春一
■ 編集 飯山市農業委員会 情報委員会

06.3
No.157

農業者の老後生活の安定と福祉の向上を支える

農業者年金に

加入しませんか

農業者年金は、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を目的とした公的な政策年金で、自ら積み立てた保険料と運用益を将来自分の年金として受給すること、認定農業者など一定の条件を満たした農業者には、国から保険料への助成があることなどが特徴となっています。

農業委員会では、多くの農業者の方に農業者年金に加入していただけるよう加入推進の活動に取り組んでいます。

加入の条件は？
次の3つの条件を満たす者は誰でも加入できます。

- ・ 国民年金の第1号被保険者である者
- ・ 60歳未満の者
- ・ 年間60日以上農業に従事する者

加入や脱退は自由
加入や脱退はいつでもできます。加入期間に関わらず、納めた保険料は将来年金として受け取ることになります。

保険料は自分で決定
毎月の保険料は2万円を基本に最高6万7千円まで千円単位で自由に決められ、いつでも金額を変更できます。

60歳から受給できます

年金は終身にわたって受け取れ、60歳から受給することができま。また80歳前に亡くなった場合、80歳までに受け取るはずだった年金額を死亡一時金として遺族の方が受け取れます。

税制面のメリット

保険料は全額（一人最高年額80万4千円まで）所得税の社会保険料控除の対象になります。また受け取る年金は公的年金控除の対象となります。

保険料への助成制度があります

60歳までに20年以上加入することが見込まれ、農業所得が9百万円以下の農業者が、認定農業者など定められた条件を満たした場合、基本保険料（2万円）のうち国から2割、5割の助成（政策支援）を受けることができます。市内の加入者のう



がんばってます!

—No.19—

1つ1つ毎日が勉強

目標を持って!



けんいち 岸田 憲一 さん

藤ノ木 (柳原)

柳原で農業をしている若い方がいるという事で取材に伺いました。現在は、花・水田・アスパラを作っておられるという事です。このうちの花とアスパラについては、全てを出荷されているそうです。農業には家族で取り組まれているようですが、忙しい時には人を頼んで手伝ってもらおうという事です。シーズンに入ってしまうと、忙しくて休日がなくなってしまう

まうそうですが、ゆくゆくは休日を作れるようにしていきたいという事です。そんな忙しい時でも、春と秋には柳原営農組合へオペレーターとして手伝いに行くそうです。このように農業に取り組まれている岸田さんですが、専業で農業を始められたのは去年からだそうです。今はまだまだ農業全般的に勉強中で、覚えることが多く大変だとおっしゃっていました。苦労していることは、やはりわからないことが多いことだそう。冬は4年ほど前からスキー場へ働きに行っていて、趣味がスキーだとおっしゃっていました。農業は1つ1つ毎日が勉強で、農業をしていると目標ができて良いと語っていただきました。

市長へ

豪雪災害対策を要請



- 1 ほ場への農道除雪、農家の消雪剤購入費、施設等復旧資材費について財政支援を講じらるたい。
- 2 昨年度の集中豪雨による被災箇所への早期復旧及び新たに融雪による災害被害箇所への早期対応、融雪後明らかとなる樹体被害等の復興に対する緊急資金融資利子補給について財政支援を講じらるたい。

昨年12月以降の記録的な豪雪により、農作物や施設の被害が多発しており、今後さらに残雪による農作物の遅れや融雪による農業施設への被害が心配されるため、農業委員会では2月27日に会長以下役員6名で次のとおり農業被害に対する支援について要請を行いました。



あぜ道だより



農業委員 仲條 邦夫 (富倉地区)

大雪に想う

未曾有の大雪の中で迎えた二〇〇六年。市民の皆様はもとより老人家庭をはじめ、弱者の上

それほど、十二月・一月の降雪が凄かったということ。自衛隊の皆さんをはじめ、多くのボランティアの人達に助けられて、雨にも負けず風にも負けず大雪にも負けずに二月を迎えました。二月は小春を保ち、助かりました。長野県内の豪雪死傷者が136人に達したとか、そのうち飯山市は38人で最多でした。死者のご冥福と負傷者の一日も早い全



大変な負担を強いるもので、精神的肉体的疲労は大変なものと考えられます。富倉では、一月十五日に計画していた道祖神祭りが中止になりました。

快をお祈り申し上げます。梅が咲き、桜が咲く暖かい春がまちがいなくやって来ます。そんな日が来るまでがんばりましょう。